

五百木飄亭 ひょうてい 評論家、俳人。明治二年十一月十四日伊豫國生れ、  
昭和十一年八月十四日歿（一八七〇—一九二七）。本名良三。別號小隱、小隱  
子、犬骨坊、白雲、若隱、居懸河臺隱士、駁臺小隱、隱居、苗樹等。明  
治二十二年醫師免許取得、二十七年日清戦争に従軍、翌年日本新聞社  
入社、二十四年新聞『日本』編輯長、昭和四年雜誌『日本及日本人』  
主宰。この間國民同盟會を結成し、政教社の經營に當る。一方勉學時  
代に止岡子規、新海非風等と可作を、漸時遠ざかる。

著書『飄亭可日記』(昭和二十二年二月一日政教社)等。